



学 会 通 信

第 113 号

2025 年 2 月 3 日発行

目次

新会長挨拶・新体制紹介	2
2024 年度 第 31 回日本教育メディア学会年次大会お礼	7
放送教育 SIG 第 1 回研究会のご案内	8
2024 年度 第 2 回研究委員会 研究会のご案内	9
第 10 期 第 10 回理事会（定例）議事録	10
第 10 期 第 11 回理事会（定例）議事録	10
第 10 期 第 12 回理事会（定例）議事録	11
第 11 期 第 1 回理事会（定例）議事録	13
第 11 期 第 2 回理事会（臨時メール）議事録	13
2024 年度 定例総会議事録	14
論文投稿のご案内	15
学会費納入のお願い，入会者・退会者	16

新会長挨拶・新体制紹介

日本教育メディア学会 第11期会長 村上 正行 (大阪大学)



日本教育メディア学会は、1954年に発足した「視聴覚教育研究協議会」（後に「日本視聴覚教育学会」へと継承）と1955年に発足した「日本放送教育学会」が統合されて、1994年に「日本視聴覚教育・放送教育学会」として発足し、1998年に改称して現在に至っております。この度、70年以上の歴史がある本学会の第11期の会長を拝命することになり、その重責を痛感するとともに、身の引き締まる思いです。本学会の発展に少しでも貢献できるよう、学会運営に全力で努めてまいりたいと思います。

私は2004年に本学会に入会し、今回副会長をお願いした寺嶋先生（大阪教育大学）との連名で初めて論文を投稿し、採録していただいたことを懐かしく思い出します。そこから20年、教育メディアを取り巻く環境は大きく変化してきました。GIGAスクール構想による1人1台端末の実現、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実、コロナ禍におけるオンライン授業、教育・学習データの利活用、生成AIの教育的利用、などさまざまなトピックから分かるように、情報通信技術（ICT）の発展とともに、教育や学習に対する考え方も大きく変容してきたと言えます。こうした変化の中で、教育メディア研究の重要性はますます高まっており、本学会の役割をより一層アピールしていきたいと考えております。

そのために、先人たちが築いてきた基盤を継承しつつ、さらなる発展を目指して、次の3点に重点を置いて取り組んでいきたいと考えております。

1点目は、学会としての歴史を振り返り、改めて教育メディア研究のさらなる発展を目指すことです。そのため、時限付きの研究組織として特定課題研究（SIG）を発足することにしました。本学会の中心的なテーマとして実績を重ねてきた“メディア・リテラシー”，本学会の発足時からのテーマである“放送教育”，新たな教育メディア研究として取り組まれている“アートベース・リサーチ（ABR）”の3つのSIGを立ち上げ、年次大会の課題研究を始め、さまざまな活動に取り組んでいただきたいと思います。会員のみならずには、ぜひ各SIGの活動に積極的に参加していただければ幸いです。

2点目は、本学会がさらに活性化することを目指して、若手研究者の支援、育成に取り組んでいくことです。第10期中橋前会長が創設された「学生研究奨励賞」を皮切りとして、大学院生や学部生、若手研究者による学会活動への積極的な参加を可能にする環境づくりを進め、議論を通じて研究を深められるようにしたいと考えています。

3点目は、学会運営の効率化、他学会との連携を進めることです。現在、研究者の業務負担の増加が問題となっており、学会自体の存在意義、学会運営の持続可能性なども課題として挙げられています。他学会との情報交換、連携を進めながら、できるだけ効率化、省力化した学会運営ができるように尽力していきたいと考えています。

これらの活動を実現していくためには、会員のみなさまのご理解とご協力が不可欠です。ぜひ会員のみなさまと一緒に、楽しく研究ができ、発展していく学会を作っていきたいと思ひます。ご支援のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。

2025年1月23日

新体制紹介

第11期の運営体制が決定しましたので、以下の通りご紹介いたします。なお、この情報は状況に応じて更新されます。最新の情報は、学会 Web サイトをご確認ください。どうぞよろしくお願ひいたします。

第11期 会長・副会長（理事）・理事・監事・評議員・各種委員等
（2024年10月5日～現在）（敬称略。各役職内の掲載順は順不同。）

【理事会】

- 会長 村上正行（大阪大学）

- 副会長 寺嶋浩介（大阪教育大学）
永田智子（兵庫教育大学）

- 理事 池尻良平（広島大学）
市川尚（岩手県立大学）
稲垣忠（東北学院大学）
岩崎千晶（関西大学）
岸磨貴子（明治大学）
工藤雅之（藤女子大学）
小林祐紀（放送大学）
今野貴之（明星大学）
佐藤和紀（信州大学）
佐藤慎一（日本福祉大学）
泰山裕（中京大学）
高橋純（東京学芸大学）
時任隼平（関西学院大学）
中橋雄（日本大学）
堀田博史（園田学園女子大学）
山本良太（大阪教育大学）

渡邊光浩（南九州大学）
渡辺雄貴（東京理科大学）

■監事 浅井和行（京都教育大学）
中川一史（放送大学）

■評議員 宇治橋祐之（NHK 放送文化研究所）
小柳和喜雄（関西大学）
黒上晴夫（関西大学）
鈴木克明（武蔵野大学）
堀田龍也（東京学芸大学）

【各種委員会】

◆事務局

事務局長 池尻良平（広島大学）
副事務局長 時任隼平（関西学院大学）
事務局補佐 千葉美保子（甲南大学）

◆編集委員会

*国内ジャーナル担当

委員長 中橋雄（日本大学）
副委員長 渡辺雄貴（東京理科大学）
石川勝博（常磐大学）
木村明憲（桃山学院教育大学）
松下幸司（香川大学）
三井一希（山梨大学）
森下孟（信州大学）
山本朋弘（中村学園大学）
大久保紀一郎（京都教育大学）
村井明日香（昭和女子大学）
松田岳士（東京都立大学）
澁川幸加（中央大学）
井ノ上憲司（大阪大学）
根本淳子（明治学院大学）
登本洋子（東京学芸大学）
亀井美穂子（椋山女学園大学）
柴山英樹（日本大学）

竹岡篤永（事業創造大学院大学）

*国際ジャーナル担当

委員長 佐藤慎一（日本福祉大学）

副委員長 今野貴之（明星大学）

阿部真由美（早稲田大学）

高林友美（サイバー大学）

張曉紅（関西大学）

◆研究委員会

*国内研究会担当

委員長 佐藤和紀（信州大学）

副委員長 岩崎千晶（関西大学）

木村明憲（桃山学院教育大学） 2025年次大会まで

瀬戸崎典夫（長崎大学） 2025年次大会まで

小島亜華里（奈良教育大学） 2026年次大会まで

大久保紀一郎（京都教育大学） 2026年次大会まで

村井明日香（昭和女子大学） 2027年次大会まで

山本朋弘（中村学園大学） 2027年次大会まで

根本淳子（明治学院大学） 2028年次大会まで

榊原範久（上越教育大学） 2028年次大会まで

*国際研究会担当

委員長 工藤雅之（藤女子大学）

副委員長 山本良太（大阪教育大学）

岸磨貴子（明治大学）

山本シャーリ（甲南大学）

千葉美保子（甲南大学）

丹下承子（聖心女子大学）

天野慧（グロービス経営大学院）

渡辺雄貴（東京理科大学）

青木浩幸（国際基督教大学）

◆年次大会委員会

委員長 小林祐紀（放送大学）

副委員長 稲垣忠（東北学院大学）

山口好和（北海道教育大学函館校）

菅原弘一（宮城教育大学）

小池翔太（東京学芸大学附属小学校）
豊田充崇（和歌山大学）
長谷川春生（富山大学）

◆広報委員会

委員長 市川尚（岩手県立大学）
副委員長 泰山裕（中京大学）
高橋暁子（千葉工業大学）
尾崎拓郎（大阪教育大学）
谷塚光典（信州大学）
村川弘城（日本福祉大学）

◆企画委員会

委員長 高橋純（東京学芸大学）
副委員長 渡邊光浩（南九州大学）
関戸康友（パナソニック教育財団）

◆論文賞選考委員会

委員長 堀田博史（園田学園女子大学）
福本徹（国立教育政策研究所）
黒田卓（富山大学）

◆特定課題研究委員会（SIG）

委員長 岸磨貴子（明治大学）
川島裕子（関西大学）
菅原弘一（宮城教育大学）
後藤心平（広島経済大学）

以上

2024年度 第31回日本教育メディア学会年次大会お礼

第31回年次大会は、2024年10月5日(土)・6日(日)の2日間、鹿児島女子短期大学で開催されました。学会員85名・非会員53名、計138名の参加がありました。また、企画委員会特別セッションはハイブリッド開催で、オンラインも25名の参加がありました。

1日目には、総会に続き、講演、シンポジウム、一般研究発表(1)、理事会、2日目には、一般研究発表(2)、一般研究発表(3)、企画委員会セッション、課題研究が開催されました。一般研究は、1日目に5セッション、2日目に4セッションが開催され、合計36件の発表がありました。いずれのセッションでも熱のこもった議論が展開されました。1日目の夜には、大会会場近くで懇親会を開催し、参会者相互の親睦を深めていただくことができました。

大会企画の講演では「2nd GIGA時代に期待される教育メディア研究」として、堀田龍也氏(東京学芸大学)にご登壇いただきました。GIGAスクールにおける研究成果など、本学会を中心に多くの知見を紹介いただき、参会者の視野を広げるとともに、教育メディア研究を推進する学会員の刺激となる内容でした。

シンポジウムは「地域ぐるみで考える教育DX：ウェルビーイングの実現と教育メディア」と題して、山口好和氏(北海道教育大学)のコーディネートのもと、聞き手に元中学校校長の辻慎一郎氏(鹿児島国際大学)、登壇者に内田奈緒美氏(鹿児島市立八幡小学校)と奥山茂樹氏(鹿児島市立長田中学校)、木田博氏(鹿児島市教育委員会)をお招きしました。開催地である鹿児島県・鹿児島市の教育DXを推進する取組や、それらをベースに地域ぐるみで行われている学校現場の実践、教育委員会の支援体制をご報告いただきました。

一般研究(3)と同時開催となった「企画委員会特別セッション2024」では「現職教員のための実践研究はじめの一步」をテーマに、企画委員の市川尚氏(岩手県立大学)、浅井和行氏(京都教育大学理事・副学長)、関戸康友氏(パナソニック教育財団)、中川一史氏(放送大学)の4名のコーディネートのもとでハイブリッド形式により行われました。前田康裕氏(熊本大学)にご登壇いただき、現職教員から研究者に至るまでの経験談や実践研究の進め方などが紹介され、参会者の議論も活発に行われました。

2日目の課題研究では、「『情報活用能力』を育成するための授業設計とカリキュラム」、「探究を多様化するアートベース・リサーチ」、「生成AIの活用とメディア・リテラシー」の3つのテーマを設定し、コーディネータの進行のもと、合計13件の発表がありました。2日目最後のプログラムにも関わらず、多くの参会者によって議論が交わされました。

課題研究および一般研究のコーディネータ、学生スタッフ、参会して下さった皆さまのお力添えで大会を無事に終えることができました。心より御礼を申し上げます。

(文責：南九州大学 渡邊光浩)

放送教育 SIG 第 1 回研究会のご案内

日本教育メディア学会は 1955 年に発足した日本放送教育学会をその起源のひとつとしており、現在に至るまで放送教育の研究を継続しています。放送教育 SIG では、これまでの研究の蓄積を踏まえつつ、「1 人 1 台端末時代の映像視聴能力」などをテーマに研究を行うことを計画しています。その第 1 回の研究会として放送教育の歴史と成果や課題を振り返り、若い世代に伝えるとともに、研究の課題を整理するために「放送教育の温故知新」をテーマに開催します。学会員でない方も無料で参加できます。

第 1 回研究会 「放送教育の温故知新」

■日時：令和 7 年 2 月 8 日（土）10:00-11:45

■開催方法：オンライン（Zoom）

■登壇者：

鈴木克明（武蔵野大学教授、熊本大学名誉教授）

菅原弘一（宮城教育大学教職大学院 特任教授、放送教育 SIG 代表）

宇治橋祐之（NHK 放送文化研究所）

■内容：

- ・趣旨説明、登壇者紹介（菅原）
- ・「放送教育の歴史と制作者の関わり」（宇治橋）
- ・「放送教育実践者として番組利用に思うこと」（菅原）
- ・「放送教育研究の意義と今後に向けて」（鈴木）
- ・全体討論

■申込み 2/6(木)までに下記から登録をお願いします。（無料、学会員以外も参加可）

2/7（金）までに参加方法をメールで連絡します。

<https://qr.paps.jp/7ZFcu>

2024 年度 第 2 回研究委員会 研究会のご案内

テーマ 学習者主体の学びとメディア／一般

■日 時：2025 年 2 月 16 日(日) 10:00~17:00 (発表件数によって変更の可能性があります)

■会 場：京都教育大学 〒612-8522 京都府京都市伏見区深草藤森町 1 番地

<https://www.kyokyo-u.ac.jp/>

■担 当：京都教育大学・大久保紀一郎

■主 催：日本教育メディア学会

2024 年度第 2 回研究会が、2025 年 2 月 16 日(日)に京都教育大学で開催されます。今回の研究会も、これまで同様に対面およびオンラインでのハイブリッド開催を予定しています。

研究会のテーマは「学習者主体の学びとメディア／一般」として募集を行い、50 件を超える発表申し込みをいただいております。人生 100 年時代となり、学校での学びの変革が著しい昨今において、教育メディア研究の果たすべき役割は重要性を増しています。たくさんの方と、これからの学びとメディアについて議論できることを楽しみにしております。発表申し込みは締切済みですが、参加申し込みを受付中ですので、ぜひたくさんの方にお申し込みいただき、ご参加いただければと思います。

今年度より、研究会の発表原稿は J-STAGE で公開されることになりました※。それに伴い、申し込み手続き等、昨年度からいくつか変更になっている点がございます。研究会ウェブサイトや申し込みサイトをご確認いただき、ご対応いただければと思います。よろしく願いいたします。

※J-STAGE

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jaemsstudy/-char/ja>

■発表申込締切：2024 年 12 月 20 日(金) 締め切りしました

■原稿提出締切：2025 年 1 月 19 日(日) 締め切りしました

■参加申込締切：2025 年 2 月 15 日(土) 参加費 無料

発表者・参加者とも対面・オンラインを問わず、必ず Peatix で参加申込を行ってください。

日本教育メディア学会会員でなくとも発表・参加が可能です。

寒さ厳しい中になると思いますが、京都の地で皆様にお会いできることを楽しみにしております。

第 10 期 第 10 回理事会（メール審議）議事録

[日時] 2024 年 5 月 21 日～5 月 27 日

[場所] メールによる審議

[出席者] 会長，副会長，理事 23 名（25 名中）

<審議事項>

（1）第 11 期選挙日程について

2024 年度の年次大会開催日程に伴う選挙日程の変更について、添付資料に基づき審議した。審議の結果、承認された。

以上

第 10 期 第 11 回理事会（定例）議事録

[日時] 2024 年 6 月 16 日（土）18:30-19:15

[場所] テレビ会議（zoom）で結び実施

[出席者]

会長：中橋雄

理事：宇治橋祐之，村上正行，浅井和行，市川尚，岩崎千晶，後藤康志，佐藤和紀，
佐藤慎一，今野貴之，関戸康友，泰山裕，寺嶋浩介，中川一史，永田智子，
山本良太

監事：佐々木輝美

事務局：高林友美

欠席：池尻良平，稲垣忠，小柳和喜雄，岸磨貴子，黒上晴夫，小林祐紀，鈴木克明，
高橋純，堀田龍也，堀田博史，渡辺雄貴，渡邊光浩

<審議事項>

（1）会長適任者推薦の件

選挙規定第 7 条に基づき理事会として会長適任者を推薦することが説明された。

審議の結果，全会一致で村上副会長を会長適任者として推薦することが承認された。

以上

第 10 期 第 12 回理事会（定例）議事録

[日時] 2024 年 9 月 21 日（土）10:00-11:20

[場所] テレビ会議（zoom）で結び実施

[出席者] 会長，理事 20 名，監事 1 名

会長：中橋雄

理事：宇治橋祐之，村上正行，浅井和行，池尻良平，市川尚，稲垣忠，岩崎千晶，岸磨貴子，小林祐紀，今野貴之，佐藤慎一，関戸康友，泰山裕，高橋純，寺嶋浩介，永田智子，堀田博史，山本良太，渡邊光浩，渡辺雄貴

監事：佐々木輝美

事務局：高林友美

欠席：小柳和喜雄，久保田賢一，黒上晴夫，後藤康志，鈴木克明，佐藤和紀，中川一史，堀田龍也

< 審議・報告事項 >

（1）選挙結果について

第 11 期会長選挙，理事選挙の結果が報告された。それに伴い 1 名の会長候補者，20 名の理事候補者，2 名の監事候補者，5 名の評議員候補者が選出され，総会において提案されることが報告された。なお，評議員については第 10 期まで構成された実績はないが，第 11 期では会則に定められている範囲で構成し，適宜業務を依頼することが報告された。

（2）入会者・退会者・除籍者について

前回理事会以降の入会者・退会者について説明があり，審議の結果承認された。

（3）学生研究奨励賞について

学生研究奨励賞を創設することについて説明があり，審議の結果承認された。

（4）編集委員会(国内担当)

学会誌の刊行，Vol31, No.2 特集号の編集状況について報告があった。

（5）編集委員会(国際担当)

論文誌の主要データベースの登録へ向けた進捗と，DOI 付与などの方向性について説明があり，審議の結果承認された。

TCC 代表を Co-Editors-in-Chief とすることについて報告があった。

論文誌 Vol.18, No.1 の発刊の進捗について報告があった。

（6）研究委員会（国内担当）

第 1 回研究会の報告がされた。

第2回研究会のスケジュールが報告された。
2025年度の開催予定について報告された。

(7) 研究委員会（国際担当）

ICoME2024の実施結果が報告された。
会計の途中経過について報告された。

(8) 広報委員会

WEBサイトをレスポンス対応にしたことについて報告があった。
各種委員会のページを固定ページから投稿ページに変更したことについて報告があった。
固定ページは原則広報委員会で更新すること、各種委員会のページは委員会ごとに直接投稿・編集できるようにしたこと、操作に関する簡易マニュアルを作成したことについて報告があった。
学会通信110号から112号の発行を行ったことについて報告があった。

(9) 企画委員会

年次大会特別セッション「現職教員のための実践研究はじめの一步」の申し込みを開始したことについて報告があった。

(10) 日本教育メディア学会論文賞選考委員会

選考結果と経緯が報告された。

(11) 年次大会委員会

2024年10月5日（土）・6日（日）開催予定の第31回年次大会の進捗、当日のスケジュールについて報告があった。

第32回年次大会は2025年11月1日（土）・2日（日）に、北海道教育大学函館校で開催予定であることについて報告があった。

(12) 名誉会員の推薦について

久保田賢一会員、小平さち子会員を名誉会員に推薦することについて説明があり、審議の結果承認された。

(13) 総会次第の確認(事務局)

日本教育メディア学会2024年総会の議題について報告された。

(14) その他

次回理事会開催について確認された。

以上

第 11 期 第 1 回理事会（定例）議事録

[日時] 2024 年 10 月 5 日（土）18:20-18:30

[場所] 鹿児島女子短期大学

[出席者] 会長，理事 16 名，監事 1 名

会長：村上正行

理事：寺嶋浩介，永田智子，池尻良平，市川尚，岩崎千晶，岸磨貴子，工藤雅之，今野貴之，佐藤和紀，泰山裕，高橋純，中橋雄，堀田博史，山本良太，渡邊光浩，渡辺雄貴

監事：浅井和行

事務局：千葉美保子

欠席：稲垣忠，小林祐紀，佐藤慎一，時任隼平，中川一史

<審議・報告事項>

（1）役職分担について（事務局）

当日資料に基づき 11 期役職分担について提案があり，審議の結果承認された。

（2）その他

各委員会に対し，委員選定の依頼がされた。また，10 月後半にメール理事会で委員を承認することについて提案があり，審議の結果承認された。

委員が確定した段階で，各種委員会のメーリングリストを作成するため，事務局に構成メンバーとメールアドレスを送信してもらいたいことについて報告があった。

メーリングリストの作成上限の関係で，10 期の各種委員会のメーリングリストに新規委員を追加することについて提案があり，審議の結果承認された。

以上

第 11 期 第 2 回理事会（臨時メール）議事録

[日時] 2024 年 10 月 22 日（火）～10 月 27 日（日）

[場所] メールによる審議

[出席者] 会長，理事 20 名，監事 2 名

会長：村上正行

理事：寺嶋浩介，永田智子，池尻良平，市川尚，稲垣忠，岩崎千晶，岸磨貴子，工藤雅之，小林祐紀，今野貴之，佐藤和紀，佐藤慎一，泰山裕，高橋純，時任隼平，中橋雄，堀田博史，山本良太，渡邊光浩，渡辺雄貴

監事：浅井和行，中川一史

事務局：千葉美保子

<審議・報告事項>

(1) 各種委員会の委員の承認について

各種委員会の委員候補を集約し添付資料に基づき審議した。審議の結果，承認された。

以上

2024 年度 定例総会 議事録

1.日 時：2024 年 10 月 5 日（土）13:00－13:50（年次大会第 1 日目）

2.場 所：鹿児島女子短期大学

3.内 容：

(1) 議案

議事に先立ち，有効な委任状（議決権を議長に委任）が 71 通電子総会システムより提出されており，総会への参加者が 60 名であり，学会会則第 44 条に従って 2024 年度定例総会が成立していることが報告された。また，会場校を代表して渡邊光浩年次大会実行委員長より挨拶があった。

第 1 号議案：2023 年度事業報告及び収支決算承認の件

第 1 号議案として，機関誌発行，年次大会の開催，学术交流等，2023 年度収支決算（案）が報告された。佐々木監事より，通帳，領収書，帳簿を確認した結果，正確であったことが報告され，審議の結果，2023 年度収支決算（案）について，異議なく承認された。

第 2 号議案：2024 年度事業計画及び収支予算承認の件

第 2 号議案として，機関誌発行，年次大会の開催，学术交流等，Web サイトの改修，2024 年度収支予算（案）が報告された。審議の結果，2024 年度事業計画及び収支予算（案）について，異議なく承認された。

第 3 号議案：第 11 期会長・理事・監事・評議員承認の件

第 11 期会長・理事・監事・評議員の選挙結果，および第 11 期会長・理事・監事・評議員の候補者が報告された。審議の結果，第 11 期会長・理事・監事・評議員が異議なく承認された。

第 4 号議案：名誉会員承認の件

久保田賢一会員（関西大学 名誉教授）と，小平さち子会員（元 NHK 放送文化研究所）を名誉会員に推

薦したことが報告され、表彰が行われた。

第5号議案：その他

学生研究奨励賞の創設について報告された。審議の結果、異議なく承認された。

(2) 報告事項

①表彰「日本教育メディア学会論文賞」審査報告と結果報告

「日本教育メディア学会論文」審議経過と結果が報告され、表彰が行われた。

受賞者名：草本明子・東條光利・長縄正芳・井村亜紀子・水谷年孝・高橋純

論文名：1人1台端末とクラウド環境における他者参照に関する事例調査

掲載論文誌：教育メディア研究 第30巻第2号

②2025年度年次大会の件

2025年年次大会を2025年11月1日～2日に北海道教育大学函館校で開催することが報告された。

③その他

国内学会誌の編集状況が報告された。

国際学会誌の編集状況が報告された。

今後の国内研究会の予定が報告された。

2025年のICoMEの予定が報告された。

Webサイトのデザインについて更新されたことが報告された。

年次大会の特別セッションの内容が報告された。

日本教育メディア学会の案内が報告された。

論文投稿のご案内

編集委員会

2024年8月20日で締め切りました『教育メディア研究』特集号「教育メディアの活用と協働学習」(Vol.31, No.2)の論文は、まもなく発刊となります。多くの投稿ありがとうございました。

今後の予定は以下の通りです。一般論文は随時受け付けております。

Vol.32, No.1は、2025年2月15日までの投稿を対象に審査を進め、2025年8月末に発刊を予定しております。

Vol.32, No.2(特集号)は、特集テーマが決まり次第、皆様にご連絡いたします。この号は、2025年8

月 15 日までの投稿を対象に審査を進め、2026 年 2 月末に発刊を予定しております。

「投稿規程」(<https://jaems.jp/kitei/>)を熟読の上、「テンプレート・投稿方法」のページから登録と投稿を行ってください(<https://jaems.jp/guideline/>)。

多く会員からの投稿をお持ちしております。

以上

学会費納入のお願い、入会者・退会者

◆ 学会費納入のお願い ◆

<納入のお願い>

2024 年度（2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日）の年会費（正会員 7,000 円、学生会員 4,000 円）が未納の方は、会員システムからお手続きください。学会 HP の「会員マイページ」よりアクセスいただくことが可能です。事務手続きの漏れを防ぐためにも、会員システムを通じたお支払いにご協力ください。

銀行振り込みをご希望の場合、下記口座にお振り込みいただくようお願いいたします。

<送金先>

銀行名：ゆうちょ銀行 種目：普通 店番：418 店名：四一八店（ヨンイチハチ店） 口座番号：0865850 名義：日本教育メディア学会（ニホンキョウイクメディアガクカイ）
--

※ゆうちょ銀行口座からの振り込みの場合は、下記記号番号をご利用ください。

記号：14160

番号：8658501

- ※ 振込手数料は、ご負担ください。ゆうちょ銀行口座から ATM を使って納入いただく場合、手数料は無料です。
- ※ ご自身のゆうちょ銀行口座以外から振り込む場合は、**振込人名義を「学会名簿に登録した会員氏名」**にして下さい。それが出来ない場合は振込後、事務局にメールでご連絡ください。
- ※ 過年度年会費をまとめて振り込む場合には、学会事務局にご連絡ください。
- ※ 学生会員は、会費納入に併せて**年度ごと**に学生証などの証明書類のスキャンまたは写真データを会員システム経由で事務局宛に提出してください。**卒業・修了などにより学生会員の条件を満たさなくなった場合は事務局にメールでお知らせください。**

◆ 登録情報更新のお願い ◆

本学会では、「学会通信」および重要なお知らせを電子メールで会員に配信しております。また、学会論文誌「教育メディア研究」をご登録の住所に郵送しております。メールの不達、年度末の学会誌の返送が複数発生しております。確実にお届けするために、定期的に会員マイページにログインの上、登録情報の確認をよろしくお願いいたします。

また、まだ会員システムからマイページへのログイン登録がお済みでない方も、この機会にマイページ登録 (<https://jaems.jp/admission/mypage/>) をよろしくお願いいたします。

【入会者・退会者・除籍者】※敬称略

入会者・正会員 (6名)・・・犬塚美輪, 梶本佳照, 岡本恭介, 岸田典子, 今宮信吾, 門松怜史

入会者・学生会員 (3名)・・・早川日向, 中村介, 今度珠美

会費滞納に関する取り扱いを定めております会則第9条では、会費滞納の会員に対する扱いについて以下のように定めております。会費の納入状況についてご不明な点がございましたら、事務局 (office@jaems.jp) までご連絡ください。

第9条

会員の会費の滞納による除籍については、以下のように定める。

(1) 正会員, 学生会員, 団体会員ならびに購読会員が、会費を3年間滞納したとき、その年度末をもって除籍され、会員の資格を喪失する。

(2) 除籍された元会員が再入会するとき、滞納会費の納入を要する。

会員総数 412名・12団体

名誉会員 : 7名*

正会員 : 340名

学生会員 : 72名

団体会員 : 6団体

購読会員 : 6団体

(2025年1月14日現在)

*会員総数に含まず。7名の氏名は学会HPにて公開。

◆ 学会通信アーカイブ作成ご協力のお願い ◆

本学会は定期的に学会通信を発行し、学会HPにて公開しています。現在、一部未公開となっている学会通信も揃えられるよう、学会事務局では以前の学会通信を探しております。お手元に第1-16, 18, 27号が紙もしくはデータ等で残っている場合、学会事務局(office@jaems.jp)までお知らせください。ご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。

日本教育メディア学会 事務局

〒739-8524 広島県東広島市鏡山1丁目1番1号
広島大学教育学部 A棟4階402号室 池尻良平研究室
日本教育メディア学会事務局 宛

E-mail : office@jaems.jp

学会ホームページ URL : <http://jaems.jp/>

広報委員会

委員長 市川尚 (岩手県立大学)

副委員長 泰山裕 (中京大学)

委員 高橋暁子 (千葉工業大学)

委員 尾崎拓郎 (大阪教育大学)

委員 谷塚光典 (信州大学)

委員 村川弘城 (日本福祉大学)